



エクステンション モビリティの設定

このモジュールでは、エンド ユーザに電話機のモビリティのサポートを提供する Cisco Unified Communications Manager Express (Cisco Unified CME) の機能について説明します。

このモジュールで紹介する機能情報の入手方法

お使いの Cisco Unified CME のバージョンが、このモジュールで説明されている機能の一部をサポートしていないことがあります。各機能がサポートされているバージョンのリストについては、「[エクステンション モビリティの機能情報](#)」(P.1144) を参照してください。

内容

- 「[エクステンション モビリティを設定するための前提条件](#)」(P.1117)
- 「[エクステンション モビリティの設定について](#)」(P.1118)
- 「[エクステンション モビリティをイネーブルにする方法](#)」(P.1123)
- 「[エクステンション モビリティの設定例](#)」(P.1138)
- 「[次の作業](#)」(P.1141)
- 「[その他の参考資料](#)」(P.1142)
- 「[エクステンション モビリティの機能情報](#)」(P.1144)

エクステンション モビリティを設定するための前提条件

- Cisco Unified CME 4.2 以降のバージョン。
- Web ベースの Cisco Unified CME GUI を使用してエクステンション モビリティ電話機に個人短縮ダイヤルを設定するには、Cisco Unified CME 4.2 (1) 以降のバージョンがインストールされていること。
- 電話機のユーザ インターフェイスを使用して個人短縮ダイヤルをエクステンション モビリティ電話機に直接設定するには、Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョンがインストールされていること。
- SIP 電話機がサポートされるのは、Cisco Unified CME 8.6 以降のバージョン。

制約事項

- ・ リモート Cisco Unified CME ルータで、エクステンション モビリティはサポートされていません。電話機ユーザはローカルの Cisco Unified IP 電話機だけにログインできます。

エクステンション モビリティの設定について

相互運用性を設定するには、次の概念について理解しておく必要があります。

- ・ 「[エクステンション モビリティ](#)」 (P.1118)
- ・ 「[エクステンション モビリティ電話機の個人短縮ダイヤル](#)」 (P.1119)
- ・ 「[Cisco Unified CME エクステンション モビリティの拡張機能](#)」 (P.1119)
- ・ 「[エクステンション モビリティ電話機でのプライバシー](#)」 (P.1120)
- ・ 「[SIP 電話機拡張用エクステンション モビリティ](#)」 (P.1121)
- ・ 「[Cisco Unified SCCP IP Phone でのエクステンション モビリティの MIB サポート](#)」 (P.1121)

エクステンション モビリティ

Cisco Unified CME 4.2 以降のバージョンのエクステンション モビリティ機能を使用して、エンドユーザは電話機のモビリティを活用できます。

ユーザ ログイン サービスを使用すると、電話機ユーザは自分の電話機以外の物理的な電話機に一時的にアクセスし、自分の卓上電話機であるかのように、個人設定（ディレクトリ番号、スピードダイヤルリスト、サービスなど）を利用できます。電話機のユーザは、アクセスした電話機で自分の卓上電話機と同じ個人設定のディレクトリ番号を使用して、コールを発信および受信することができます。

エクステンション モビリティがイネーブルになっている各 Cisco Unified IP Phone は、ログアウトプロファイルで設定されます。エクステンション モビリティがイネーブルになっている電話機にどの電話機ユーザもログインしていない場合の、その電話機のデフォルトのアピアランスは、このプロファイルによって決定されます。少なくとも、このログアウト プロファイルによって、911 などの緊急サービスにコールできるようになります。単一のログアウト プロファイルを複数の電話機に適用できます。

エクステンション モビリティがイネーブルになっている Cisco Unified IP Phone が起動した後、電話機の [サービス (Services)] 機能ボタンに、エクステンション モビリティのログイン ページを示す、Cisco Unified CME でホストされるログイン サービス URL が設定されます。Extension Assigner を [Services (サービス)] 機能ボタンに追加するために、機能ボタン固有の設定を行う必要はありません。エクステンション モビリティのオプションは、電話機ユーザが [Services (サービス)] 機能ボタンを押すと表示されるオプションのリストの最後に表示されます。

電話機ユーザは、[サービス (Services)] ボタンを押して、エクステンション モビリティがイネーブルになっている Cisco Unified IP Phone にログインします。または、Unified CCX エージェントが Unified CCX Cisco Agent Desktop を使用してログインできます。ユーザの認証と承認は、Cisco Unified CME で実行されます。ログインに成功すると、Cisco Unified CME はユーザ名とパスワードの照合に基づいて、該当するユーザ プロファイルを取得し、電話機のログアウト プロファイルをユーザ プロファイルに置き換えます。

電話機ユーザがログインすると、サービス URL が Cisco Unified CME によってホストされているログアウト URL をポイントし、電話機にログアウト プロンプトが提供されます。別のデバイスにログインすると、最初のセッションは自動的に閉じられ、新しいデバイスで新しいセッションが開始されます。電話機ユーザがどの電話機にもログインしていない場合、その電話機ユーザのディレクトリ番号への着信コールは、電話機ユーザのボイス メールボックスに送信されます。

ボタンの外観については、エクステンション モビリティが電話機のボタンにディレクトリ番号を関連付けてから、ログアウト プロファイルまたはユーザ プロファイルのスピードダイヤル番号を関連付けます。ディレクトリ番号が関連付けられる順番は、次のように、回線タイプと呼び出し音の動作に基づきます。最初が通常の呼び出しで、その後、サイレント呼び出し、ブープ音呼び出し、機能呼び出し、モニタ呼び出し、オーバーレイ、スピードダイヤルの順になります。プロファイルがダウンロードされる物理的な電話機にあるボタンよりも多い数の番号がプロファイルに含まれている場合、プロファイル内の残りの番号は無視されます。

設定については、「[エクステンション モビリティをイネーブルにする方法](#)」(P.1123) を参照してください。

エクステンション モビリティ電話機の個人短縮ダイヤル

Cisco Unified CME 4.2 (1) 以降のバージョンでは、電話機ユーザは Web ベースの GUI を使用して、エクステンション モビリティ電話機に個人短縮ダイヤルを設定できます。以前は、電話機にスピードダイヤルを設定する場合に、Cisco Unified CME で Cisco IOS コマンドを使用する必要がありました。

エクステンション モビリティ電話機にログオンするときと同じクレデンシャルを使用して、Cisco Unified CME GUI にログインします。GUI の電話機ユーザ オプションを使用して行われたすべての変更が、エクステンション モビリティの電話機ユーザのユーザ プロファイルに適用されます。Cisco Unified CME GUI のスピードダイヤル オプションには、システム管理者またはカスタマー管理者のログイン画面からアクセスできません。

Cisco Unified CME GUI の使用の詳細については、『[Cisco Unified CME GUI User Guide](#)』を参照してください。

すべての認証クレデンシャルのユーザ名パラメータは一意にする必要があり、他のクレデンシャルのユーザ名と同じにすることはできません。Cisco Unified CME で 2 つ以上の認証クレデンシャルを設定する場合、Cisco Unified CME GUI アカウントのユーザ名と、エクステンション モビリティのログアウトまたはユーザ プロファイルのユーザ名など、ユーザ名に同じ値を使用しないでください。設定については、「[GUI のイネーブル化](#)」(P.527) を参照してください。

Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョンでは、エクステンション モビリティのユーザは電話機に直接自分のスピードダイヤルを設定できます。スピードダイヤル設定は、[サービス (Services)] 機能ボタンで使用できるメニューを使用して、電話機に追加または変更できます。電話機のユーザ インターフェイスから行われたスピードダイヤル設定への変更は、エクステンション モビリティのユーザのプロファイルに適用されます。Cisco Unified IP Phone での電話機ユーザ インターフェイスの使用についての詳細は、『[Cisco Unified IP Phone 7900 Series End-User Guides](#)』を参照してください。

電話機ユーザ インターフェイスは、画面付きのすべての電話機で、デフォルトでイネーブルになっています。個々の電話に対してこの機能をディセーブルにして、電話機ユーザがインターフェイスにアクセスできないようにすることができます。設定については、「[SCCP : スピードダイヤルおよびファストダイヤル用ユーザ インターフェイスのイネーブル化](#)」(P.1409) を参照してください。

Cisco Unified CME エクステンション モビリティの拡張機能

Cisco Unified CME 4.3 のエクステンション モビリティには、次の拡張機能があります。

- 設定可能な自動ログアウト
- コール履歴の自動クリア

自動ログアウト

Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョンには、エクステンション モビリティに対応した自動タイムアウト機能が含まれています。自動ログアウトが実行されると、Cisco Unified CME はログアウト プロファイルを電話機に送信して、電話機を再起動します。自動ログアウト後、エクステンション モビリティ ユーザはもう一度ログインできます。

24 時間制の時計で最大 3 つの異なる時刻を設定し、時刻に基づいてエクステンション モビリティ ユーザを自動的にログアウトすることができます。このシステム時計によって、指定した時刻にアラームがトリガーされ、Cisco Unified CME の EM マネージャは、システム内のすべてのエクステンション モビリティ ログイン ユーザをログアウトします。自動ログアウトが行われるときに、エクステンション モビリティのユーザが電話機を使用している場合、そのユーザはアクティブなコールが終了してからログアウトされます。

設定については、「[エクステンション モビリティ用の Cisco Unified CME の設定](#)」(P.1123) を参照してください。

ユーザは、[サービス (Services)] ボタンを押して、[ログアウト (Logout)] を選択すると、エクステンション モビリティからログアウトします。電話機から離れる前にユーザが手動でログアウトしなかった場合、電話機はアイドル状態になり、個々のユーザ プロファイルはその電話機にロードされたままになります。アイドル状態のエクステンション モビリティ電話機から個々のユーザを自動的にログアウトするには、エクステンション モビリティ用にアイドル期間タイマーを設定します。このタイマーは電話機をモニタし、指定した最大アイドル時間を超過すると、EM マネージャによってユーザがログアウトされます。アイドル期間タイマーは、電話機がオフフックになるたびにリセットされます。

設定については、「[ユーザ プロファイルの設定](#)」(P.1135) を参照してください。

コール履歴の自動クリア

Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョンでは、Cisco Unified CME の EM マネージャによって電話機にコマンドが発行され、ユーザがエクステンション モビリティをログアウトするたびに、コール履歴がクリアされます。エクステンション モビリティ電話機と、Cisco Unified CME の認証サーバ間で、HTTP GET/POST が送信されます。認証サーバは要求を承認し、その結果に基づいてコール履歴がクリアされます。

電話履歴の自動クリアがディセーブルになるように、Cisco Unified CME を設定できます。設定については、「[エクステンション モビリティ用の Cisco Unified CME の設定](#)」(P.1123) を参照してください。

エクステンション モビリティ電話機でのプライバシー

Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョンでは、電話機ユーザはプライバシー機能を使用して、他のユーザがコール情報を表示したり、共有オクトラインディレクトリ番号でのコールに割り込んだりできないように設定できます。電話機が共有オクトラインで着信コールを受信すると、ユーザは [プライバシー (Privacy)] 機能ボタンを押してそのコールをプライベートに設定することができます。このボタンでは、オン/オフを切り替え、電話機のプライバシー設定を変えることができます。プライバシー状態は、電話機のユーザが所有する新しいすべてのコールと現在のコールに適用されます。

エクステンション モビリティ電話機の場合、ユーザ プロファイルとログアウト プロファイルで [プライバシー (Privacy)] ボタンをイネーブルにできます。[プライバシー (Privacy)] ボタンをイネーブルにするには、「[IP Phone のログアウト プロファイルの設定](#)」(P.1126) および「[ユーザ プロファイルの設定](#)」(P.1135) を参照してください。

プライバシー機能の詳細については、「[割り込みとプライバシーの設定](#)」(P.675) を参照してください。

SIP 電話機拡張用エクステンション モビリティ

Cisco Unified CME 8.6 はエクステンション モビリティ機能が拡張され、SIP 電話機をサポートできます。

エクステンション モビリティにより、EM がイネーブルになっているすべての物理的な電話機にアクセスし、自分の卓上電話機であるかのように、個人設定（たとえば、ディレクトリ番号、スピードダイヤル、After-Hour Personal Identification Number (PIN)、および機能ボタンのレイアウト）を利用できます。

ユーザ ログイン サービスを使用すると、自分の電話機以外の物理的な電話機に一時的にアクセスし、自分の卓上電話機であるかのように、個人設定（ディレクトリ番号、スピードダイヤルリスト、サービスなど）を利用できます。

SIP 電話機のエクステンション モビリティの機能は SCCP 電話機の場合と同じですが、設定手順のみ異なります。SIP 電話機に対するエクステンション モビリティの設定の詳細については、「[SIP 電話機のエクステンション モビリティの設定](#)」(P.1131) を参照してください。



(注) 同じユーザ プロファイルを使用して、SCCP 電話機または SIP 電話機のどちらにもログインできます。



(注) SIP 電話機にログインしたときに適用されるのは、自分のユーザ プロファイルに設定されている通常回線だけです。オーバーレイ、モニタ、および機能リング回線など、他の回線は無視されます。



(注) ユーザ プロファイルに設定した [不在 (Cfwdall)]、[会議 (Confrn)]、[サイレント (DND)]、[終了 (Endcall)]、[保留 (Hold)]、[発信 (Newcall)]、[グループピックアップ (Group Pickup)]、[パーク (Park)]、[プライバシー (Privacy)]、[リダイヤル (Redial)]、および [転送 (Transfer)] の各機能ボタンのみが、SIP 電話機にログインすると適用されます。他の機能ボタンは無視されます。

Cisco Unified SCCP IP Phone でのエクステンション モビリティの MIB サポート

Cisco Unified CME 9.0 以降のバージョンでは、Cisco Unified SCCP IP エクステンション モビリティ (EM) 電話機をモニタするために、新しい MIB オブジェクトが追加されています。これらの拡張機能により、次の情報を取得できます。

- ログインしたときの、Cisco Unified SCCP IP EM 電話機のユーザ プロファイル タグ
- Cisco Unified SCCP IP EM 電話機のログアウト プロファイル タグ
- 各ユーザ プロファイルの DN とそのタイプ、およびオーバーレイまたはコール待機番号（該当する場合）
- 各ログアウト プロファイルの DN とそのタイプ、およびオーバーレイまたはコール待機番号（該当する場合）
- EM 電話機として設定されている Cisco Unified SCCP IP Phone の番号
- 登録された Cisco Unified SCCP IP EM 電話機の番号

表 97 に、新しい MIB データベースを取得するための MIB 変数とオブジェクト ID を示します。

表 97 Cisco Unified SCCP IP Phone の EM 用の MIB 変数とオブジェクト ID

MIB 変数	オブジェクト ID
ccmeEMUserProfileTag	1.3.6.1.4.1.9.9.439.1.1.43.1.19
ccmeEMLogOutProfileTag	1.3.6.1.4.1.9.9.439.1.1.43.1.20
ccmeEMUserDirNumConfTable	1.3.6.1.4.1.9.9.439.1.1.68
ccmeEMUserDirNumConfEntry	1.3.6.1.4.1.9.9.439.1.1.68.1
ccmeEMUserDirNum	1.3.6.1.4.1.9.9.439.1.1.68.1.3
ccmeEMUserDirNumOverlay	1.3.6.1.4.1.9.9.439.1.1.68.1.4
ccmeEMLogoutDirNumConfTable	1.3.6.1.4.1.9.9.439.1.1.69
ccmeEMLogoutDirNumConfEntry	1.3.6.1.4.1.9.9.439.1.1.69.1
ccmeEMLogoutDirNum	1.3.6.1.4.1.9.9.439.1.1.69.1.3
ccmeEMLogoutDirNumOverlay	1.3.6.1.4.1.9.9.439.1.1.69.1.4
ccmeEMphoneTot	1.3.6.1.4.1.9.9.439.1.2.9
ccmeEMphoneTotRegistered	1.3.6.1.4.1.9.9.439.1.2.10

表 98 に、Cisco Unified SCCP IP Phone の EM 用の各 MIB 変数についての説明を示します。

表 98 Cisco Unified SCCP IP Phone の EM 用 MIB 変数の説明

MIB 変数	説明
ccmeEMUserProfileTag	EM 電話機のユーザ プロファイル タグ
ccmeEMLogOutProfileTag	EM 電話機のログアウト プロファイル タグ
ccmeEMUserDirNumConfTable	EM 電話機のユーザ プロファイルのエントリ テーブル
ccmeEMUserDirNumConfEntry	EM 電話機のユーザ プロファイル エントリ
ccmeEMUserDirNum	ユーザ プロファイルのディレクトリ番号
ccmeEMUserDirNumOverlay	オーバーレイ ID など、ユーザ プロファイルの番号タイプ
ccmeEMLogoutDirNumConfTable	EM 電話機のログアウト プロファイルのエントリ テーブル
ccmeEMLogoutDirNumConfEntry	EM 電話機のログアウト エントリ
ccmeEMLogoutDirNum	ログアウト プロファイルのディレクトリ番号
ccmeEMLogoutDirNumOverlay	オーバーレイ ID など、ログアウト プロファイルの番号タイプ
ccmeEMphoneTot	EM 電話機の合計数
ccmeEMphoneTotRegistered	登録された EM 電話機の合計数

エクステンション モビリティは、Cisco Unified CME ではサポートされていますが、Cisco Unified SRST ではサポートされていません。

エクステンション モビリティをイネーブルにする方法

Cisco Unified CME でエクステンション モビリティをイネーブルにするには、次のタスクを実行します。

- 「[エクステンション モビリティ用の Cisco Unified CME の設定](#)」 (P.1123) (必須)
- 「[IP Phone のログアウト プロファイルの設定](#)」 (P.1126) (必須)
- 「[エクステンション モビリティ用の IP Phone のイネーブル化](#)」 (P.1128) (必須)
- 「[SIP 電話機のエクステンション モビリティの設定](#)」 (P.1131)
- 「[エクステンション モビリティ用の SIP 電話機のイネーブル化](#)」 (P.1134) (必須)
- 「[ユーザ プロファイルの設定](#)」 (P.1135) (必須)

エクステンション モビリティ用の Cisco Unified CME の設定

Cisco Unified CME にエクステンション モビリティを設定するには、次の手順を実行します。

前提条件

- Cisco Unified CME の認証サーバ用に、Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョン。
- 自動ログアウト用に、Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョン。

手順の概要

1. `enable`
2. `configure terminal`
3. `ip http server`
4. `telephony-service`
5. `url authentication url-address application-name password`
6. `service phone webAccess 0`
7. `authentication credential application-name password`
8. `em keep-history`
9. `em logout time1 [time2] [time3]`
10. `end`

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<p>enable</p> <p>例： Router> enable</p>	<p>特権 EXEC モードをイネーブルにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ2	<p>configure terminal</p> <p>例： Router# configure terminal</p>	<p>グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。</p>
ステップ3	<p>ip http server</p> <p>例： Router(config)# ip http server</p>	<p>エクステンション モビリティのログインおよびログアウトページのサービス URL をホストする Cisco Unified CME ルータで、HTTP サーバをイネーブルにします。</p>
ステップ4	<p>telephony-service</p> <p>例： Router(config)# telephony-service</p>	<p>telephony-service コンフィギュレーション モードを開始します。</p>
ステップ5	<p>url authentication url-address application-name password</p> <p>例： Router(config-telephony)# url authentication http://192.0.2.0/CCMCIP/authenticate.asp secretname psswrд または</p> <p>エクステンション モビリティおよびVoiceView Express 3.2 以前のバージョンをサポートする方法 Router(config-telephony)# url authentication http://192.0.2.0/voiceview/authentication/authenticate.do secretname psswrд</p>	<p>認証サーバに HTTP 要求を送信するよう電話機に設定し、どのクレデンシャルを要求で使用するかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> このコマンドは、Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョンでサポートされています。電話履歴の自動クリアをサポートするために必要です。 Cisco Unified CME の内部認証サーバの URL は、http://CME IP Address/CCMCIP/authenticate.asp です。 エクステンション モビリティおよびCisco VoiceView Express 3.2 以前のバージョンのみをサポートするには、次のようにします。 <ul style="list-style-type: none"> Cisco Unified CME の場合：Cisco Unity Express の URL を使用して、url authentication コマンドを設定します。 Cisco Unity Express の URL は、http://CUE IP Address/voiceview/authentication/authenticate.do です。 Cisco Unity Express の場合：Cisco Unified CME の認証サーバの URL を使用して、fallback-url コマンドを設定します。 <p>– 「例」(P.1126) を参照してください。</p>
ステップ6	<p>service phone webAccess 0</p> <p>例： Router(config-telephony)# service phone webAccess 0</p>	<p>IP Phone の webAccess をイネーブルにします。Web サーバはデフォルトでディセーブルになっているため、9.x ファームウェアにはこの手順が必要です。8.x 以前のファームウェアでは、Web サーバはデフォルトでイネーブルになっていました。</p>

コマンドまたはアクション	目的
<p>ステップ7 <code>authentication credential application-name password</code></p> <p>例: <code>Router(config-telephony)#authentication credential secretname psswrđ</code></p>	<p>(任意) Cisco Unified CME 認証サーバで使用されるデータベースに、アプリケーションのクレデンシャル用のエントリを作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> このコマンドは、Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョンでサポートされています。 Cisco VoiceView Express など、エクステンション モビリティ以外のアプリケーションからの要求をサポートするために必要です。
<p>ステップ8 <code>em keep-history</code></p> <p>例: <code>Router(config-telephony)# em keep-history</code></p>	<p>(任意) ユーザがエクステンション モビリティ電話機からログアウトしても、コール履歴を自動的にクリアせずに、エクステンション モビリティで保持されるように指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> このコマンドは、Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョンでサポートされています。 デフォルト: 電話履歴の自動クリアはイネーブルになっています。
<p>ステップ9 <code>em logout time1 [time2] [time3]</code></p> <p>例: <code>Router(config-telephony)# em logout 19:00 24:00</code></p>	<p>(任意) すべてのエクステンション モビリティ ユーザを自動的にログアウトする時刻タイマーを、最大3つ定義します。</p> <ul style="list-style-type: none"> このコマンドは、Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョンでサポートされています。 <i>time</i>: ログインしているユーザがエクステンション モビリティから自動的にログアウトされる時刻。範囲: 24 時間制で 00:00 ~ 24:00。 個々のユーザを自動的にログアウトするためのアイドル期間タイマーを設定するには、「ユーザ プロファイルの設定」(P.1135) を参照してください。
<p>ステップ10 <code>end</code></p> <p>例: <code>Router(config-telephony)# end</code></p>	<p>コンフィギュレーション モードを終了し、特権 EXEC モードに戻ります。</p>

例

次に、エクステンション モビリティと Cisco VoiceView Express をサポートするように、Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョンおよび Cisco Unity Express 3.2 以前のバージョンを設定する方法の例を示します。



(注)

エクステンション モビリティ、および Cisco VoiceView Express 3.2 以前のバージョンを実行している場合、**fallback-url** コマンドも Cisco Unity Express で設定する必要があります。設定についての詳細は、該当する『[Cisco Unity Express Administrator Guide](#)』を参照してください。

Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョン

```
telephony-service
 url authentication http://192.0.2.0/voiceview/authentication/authenticate.do secretname
 psswrld
 authentication credentials secretname psswrld
```

Cisco Unity Express 3.2 以前のバージョン

```
service phone-authentication
 fallback-url http://192.0.2.0/CCMCIP/authenticate.asp?UserID=secretname&Password=psswrld
```

IP Phone のログアウト プロファイルの設定

ログアウト プロファイルを作成して、エクステンション モビリティがイネーブルになっている Cisco Unified IP Phone のデフォルト アピアランスを定義するには、次の手順を実行します。

前提条件

- ログアウト プロファイルに含めるすべてのディレクトリ番号、またはユーザ プロファイルが、Cisco Unified CME で事前に設定されていること。設定については、「[基本的なコール発信のための電話機の設定](#)」(P.191) を参照してください。
- エクステンション モビリティ電話機でのプライバシー用には、Cisco Unified 4.3 以降のバージョン。

制約事項

- ボタンの外観について、エクステンション モビリティは、電話機のボタンにディレクトリ番号を関連付けてから、ログアウト プロファイルまたはユーザ プロファイルのスピードダイヤル定義を関連付けます。ディレクトリ番号が関連付けられる順番は、次のように、回線タイプと呼び出し音の動作に基づきます。最初が通常の呼び出しで、その後、サイレント呼び出し、ピープ音呼び出し、機能呼び出し、モニタ呼び出し、オーバーレイ、スピードダイヤルの順になります。プロファイルがダウンロードされる物理的な電話機にあるボタンよりも多数の、ディレクトリ番号とスピードダイヤル番号がプロファイルに含まれている場合、すべての番号がボタンにダウンロードされるわけではありません。
- ラインアピアランス用に設定された最初の番号を、モニタ対象のディレクトリ番号にすることはできません。

- 認証クレデンシャルのユーザ名パラメータは一意にする必要があります。Cisco Unified CME で 2 つ以上の認証クレデンシャルを設定する場合、Cisco Unified CME GUI アカウントのユーザ名と、エクステンション モビリティのログアウトまたはユーザ プロファイルのユーザ名など、ユーザ名に同じ値を使用しないでください。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **voice logout-profile *profile-tag***
4. **user name password *password***
5. **number *number type type***
6. **speed-dial *speed-tag number [label label] [blf]***
7. **pin *number***
8. **privacy-button**
9. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ3	voice logout-profile <i>profile-tag</i> 例： Router(config)# voice logout-profile 1	ログアウト プロファイルを作成するための音声ログアウト プロファイル設定モードを開始して、エクステンション モビリティがイネーブルになっている Cisco Unified IP Phone のデフォルトのアピアランスを定義します。 • <i>profile-tag</i> : 設定タスク中にこのプロファイルを識別する一意の番号。範囲：1 から Cisco Unified CME ルータでサポートされる電話機の最大数まで。最大数を表示するには、? と入力します。
ステップ4	user name password <i>password</i> 例： Router(config-logout-profile)# user 23C2-8 password 43214	Cisco Unified CME にログインするために、TAPI 電話機デバイスによって使用されるクレデンシャルを作成します。 • <i>name</i> : この認証クレデンシャルのみに関して、ユーザを識別するための一意の英数文字列。 • <i>password</i> : 英数文字列。

■ エクステンション モビリティをイネーブルにする方法

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ5	<p>number <i>number type type</i></p> <p>例 : Router(config-logout-profile)# number 3001 type silent-ring Router(config-logout-profile)# number 3002 type beep-ring Router(config-logout-profile)# number 3003 type feature-ring Router(config-logout-profile)# number 3004 type monitor-ring Router(config-logout-profile)# number 3005,3006 type overlay Router(config-logout-profile)# number 3007,3008 type cw-overly</p>	<p>回線定義を作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • number : このプロファイルで設定されている Cisco Unified IP Phone のボタンに関連付けられ、そのボタンの横に表示されるディレクトリ番号。 • [,...number] : (任意) オーバーレイ回線専用。コール待機の有無は関係ありません。コマンドリストの最も左側にあるディレクトリ番号のプライオリティが最も高くなります。最大 25 個の番号を使用できます。個々の番号はカンマ (,) で区切る必要があります。 • type type : この回線に関連付ける特性を指定します。オプションのリストを表示するには、? と入力します。
ステップ6	<p>speed-dial <i>speed-tag number [label label] [blf]</i></p> <p>例 : Router(config-logout-profile)# speed-dial 1 2001 Router(config-logout-profile)# speed-dial 2 2002 blf</p>	<p>スピードダイヤル定義を作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • speed-tag : 設定タスク中にスピードダイヤル定義を識別する一意のシーケンス番号。範囲 : 1 ~ 36。 • number : 短縮ダイヤル ボタンを押したときにダイヤルされる番号。 • label label : (任意) 短縮ダイヤル ボタンの横に表示される識別用テキストを含む文字列。文字列にスペースを含む場合は引用符で囲みます。 • blf : (任意) スピードダイヤル番号のビジー ランプ フィールド (BLF) モニタリングをイネーブルにします。
ステップ7	<p>pin <i>number</i></p> <p>例 : Router(config-logout-profile)# pin 1234</p>	<p>電話機ユーザが使用する Personal Identification Number (PIN) を設定して、このプロファイルがダウンロードされる Cisco Unified IP Phone のコールブロック設定をディセーブルにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • number : 4 ~ 8 個の数字を含む数字列。
ステップ8	<p>privacy-button</p> <p>例 : Router(config-logout-profile)# privacy-button</p>	<p>(任意) IP Phone でプライバシー機能ボタンをイネーブルにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • このコマンドは、オクトライン ディレクトリ番号を共有する電話機に対してのみイネーブルにします。 • このコマンドは、Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョンでサポートされています。
ステップ9	<p>end</p> <p>例 : Router(config-logout-profile)# end</p>	<p>特権 EXEC モードに戻ります。</p>

エクステンション モビリティ用の IP Phone のイネーブル化

Cisco Unified CME で個々の Cisco Unified IP Phone のエクステンション モビリティ機能をイネーブルにするには、次の手順を実行します。



(注)

機能ボタンの URL プロビジョニングをサポートする画面を持つすべての SCCP Cisco Unified IP Phone は、Cisco Unified Wireless IP Phone 7920、Cisco Unified Wireless IP Phone 7921、および Cisco IP Communicator などのエクステンション モビリティによってサポートされます。

前提条件

- Cisco Unified CME ルータで HTTP サーバがイネーブルになっていること。設定については、「[エクステンション モビリティ用の Cisco Unified CME の設定](#)」(P.1123) を参照してください。
- 電話機に割り当てるログアウト プロファイルが Cisco Unified CME で設定されていること。
- エクステンション モビリティをイネーブルにする Cisco IP Communicator が Cisco Unified CME に事前に登録されていること。

制約事項

- エクステンション モビリティは、電話機に画面がない Cisco Unified IP Phone ではサポートされません。
- エクステンション モビリティは、アナログ デバイスではサポートされません。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ephone *phone-tag***
4. **mac-address *mac-address***
5. **type *phone-type***
6. **logout-profile *profile-tag***
7. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

■ エクステンション モビリティをイネーブルにする方法

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ3	<p>ephone <i>phone-tag</i></p> <p>例 : Router(config)# ephone 1</p>	<p>電話機コンフィギュレーション モードをイネーブルにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • phone-tag : 設定タスク中に、この電話機を識別する一意の番号。範囲は、1 からサポートされる電話機の最大数までです。この最大数はプラットフォームとバージョンによって異なり、max-ephone コマンドを使用して定義されます。
ステップ4	<p>mac-address <i>mac-address</i></p> <p>例 : Router(config-ephone)# mac-address 000D.EDAB.3566</p>	<p>物理的な電話機をこの ephone 設定に関連付けます。</p>
ステップ5	<p>type <i>phone-type</i></p> <p>例 : Router(config-ephone)# type 7960</p>	<p>設定する電話機に電話機タイプを定義します。</p>
ステップ6	<p>logout-profile <i>profile-tag</i></p> <p>例 : Router(config-ephone)# logout-profile 1</p>	<p>エクステンション モビリティ用に Cisco Unified IP Phone をイネーブルにして、この電話機にログアウト プロファイルを割り当てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • tag : この電話機に電話機ユーザがログインしていない場合に使用されるログアウト プロファイルの固有識別子。このタグ番号は、voice logout-profile コマンドを使用してこのログアウト プロファイルが設定されたときに作成されたタグ番号と対応しています。
ステップ7	<p>end</p> <p>例 : Router(config-ephone)# end</p>	<p>特権 EXEC モードに戻ります。</p>

SIP 電話機のエクステンション モビリティの設定

SIP 電話機で 사용되는ようにエクステンション モビリティを準備するには、次の手順を実行します。

前提条件

- Cisco IOS Release 15.1(4)M。
- Cisco Unified CME8.6 以降のバージョン。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ip http server**
4. **voice register global**
5. **url authentication *url-address application-name password***
6. **exit**
7. **telephony-service**
8. **authentication credential *application-name password***
9. **em keep-history**
10. **em logout *time1 [time2][time3]***
11. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	<code>enable</code> 例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。  (注) プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ2	<code>configure terminal</code> 例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ3	<code>ip http server</code> 例： Router(config)# ip http server	エクステンション モビリティのログインおよびログアウトページのサービス URL をホストする Cisco Unified CME ルータで、HTTP サーバをイネーブルにします。
ステップ4	<code>voice register global</code> 例： Router(config)# voice register global	グローバル音声レジスタ コマンドを定義します。
ステップ5	<code>url authentication url-address application-name password</code> 例： Router(config-register-global)# url authentication http://192.0.2.0/CCMCIP/authenticate.asp secretname psswrđ	認証サーバに HTTP 要求を送信するよう電話機に設定し、どのクレデンシャルを要求で使用するかを指定します。 <ul style="list-style-type: none">電話履歴の自動クリアをサポートするために必要です。application-name : このコマンドで選択して定義するユーザ名。password : このコマンドを使用して定義するパスワード。URL : Cisco Unified CME の認証サーバの URL アドレスは、http://CME IP Address/CCMCIP/authenticate.asp です。
ステップ6	<code>exit</code> 例： Router(config-register-global)# exit	音声レジスタ グローバル コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ7	<code>telephony-service</code> 例： Router(config)# telephony-service	テレフォニー サービス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ8	<code>authentication credential application-name password</code> 例： Router(config-telephony)# authentication credential application-name password	認証クレデンシャルを指定します。ステップ 5 で取得したクレデンシャルを使用します。  (注) このステップは、ステップ 5 で CME 内部認証サーバを電話機の認証サーバとして設定した場合のみ必要です。

コマンドまたはアクション	目的
<p>ステップ9 <code>em keep-history</code></p> <p>例: <code>Router(config-telephony)# em keep-history</code></p>	<p>(任意) ユーザがエクステンション モビリティ電話機からログアウトしても、コール履歴を自動的にクリアせずに、エクステンション モビリティで保持されるように指定します。</p> <p></p> <p>(注) デフォルト: 電話履歴の自動クリアはイネーブルになっています。</p>
<p>ステップ10 <code>em logout time1 [time2] [time3]</code></p> <p>例: <code>Router(config-telephony)# em logout 19:00 24:00</code></p>	<p>(任意) すべてのエクステンション モビリティ ユーザを自動的にログアウトする時刻タイマーを、最大3つ定義します。</p> <ul style="list-style-type: none"> time: ログインしているユーザがエクステンション モビリティから自動的にログアウトされる時刻。範囲: 24 時間制で 00:00 ~ 24:00。
<p>ステップ11 <code>end</code></p> <p>例: <code>Router(config-telephony)# end</code></p>	<p>特権 EXEC モードに戻ります。</p>

エクステンション モビリティ用の SIP 電話機のイネーブル化

Cisco Unified CME で SIP 電話機のエクステンション モビリティ機能をイネーブルにするには、次の手順を実行します。



(注) URL プロビジョニングをサポートする画面を持つすべての Cisco Unified SIP 電話機は、エクステンション モビリティによってサポートされます。

前提条件

- Cisco Unified CME ルータで HTTP サーバがイネーブルになっていること。
- 電話機に割り当てるデフォルト ログアウト プロファイルとユーザ プロファイルが Cisco Unified CME で設定されていること。
- デフォルトのログアウト プロファイルとユーザ プロファイルの音声レジスタ ディレクトリ番号が Cisco Unified CME で設定されていること。SIP ディレクトリ番号を設定するには、『[Cisco Unified Communications Manager Express Command Reference](#)』マニュアルを参照してください。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **voice register pool *pool-tag***
4. **id mac *mac-address***
5. **type *phone-type***
6. **logout-profile *profile-tag***
7. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ3	voice register pool <i>pool-tag</i> 例： Router(config)# voice register pool 22	電話機コンフィギュレーション モードをイネーブルにします。 • pool-tag : 設定タスク中にこのレジスタ プールを識別する一意の番号。範囲は 1 ~ 42 です。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ4	<p><code>id mac mac-address</code></p> <p>例： Router(config-register-pool)# id mac 0123.4567.89AB</p>	<p>物理的な電話機をこの ephone 設定に関連付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> mac-address : 物理的な電話機の MAC アドレス。
ステップ5	<p><code>type phone-type</code></p> <p>例： Router(config-register-pool)# type 7970</p>	<p>設定する電話機に電話機タイプを定義します。</p>
ステップ6	<p><code>logout-profile profile-tag</code></p> <p>例： Router(config-register-pool)# logout-profile 22</p>	<p>エクステンション モビリティ用に Cisco Unified SIP 電話機をイネーブルにして、この電話機にログアウト プロファイル割り当てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> profile tag : この電話機に電話機ユーザがログインしていない場合に使用されるログアウト プロファイルの固有識別子。このタグ番号は、voice logout-profile コマンドを使用してこのログアウト プロファイルが設定されたときに作成されたタグ番号と対応しています。
ステップ7	<p><code>end</code></p> <p>例： Router(config-ephone)# end</p>	<p>特権 EXEC モードに戻ります。</p>

ユーザ プロファイルの設定

エクステンション モビリティがイネーブルになっている Cisco Unified IP Phone にログインしている電話機ユーザのユーザ プロファイルを設定するには、次の手順を実行します。



(注)

ephone-template コマンドと **ephone-dn-template** コマンドを使用して作成したテンプレートは、エクステンション モビリティ用としてユーザ プロファイルに適用できます。

前提条件

- ログアウト プロファイルに含めるすべてのディレクトリ番号、またはユーザ プロファイルが、Cisco Unified CME で事前に設定されていること。設定については、「[基本的なコール発信のための電話機の設定](#)」(P.191) を参照してください。
- 自動ログアウト用に、Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョン。
- エクステンション モビリティ電話機でのプライバシー用には、Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョン。

制約事項

- ボタンの外観について、エクステンション モビリティは、電話機のボタンにディレクトリ番号を関連付けてから、ログアウト プロファイルまたはユーザ プロファイルのスピードダイヤル定義を関連付けます。ディレクトリ番号が関連付けられる順番は、次のように、回線タイプと呼び出し音の動作に基づきます。最初が通常の呼び出しで、その後、サイレント呼び出し、ブープ音呼び出し、機能呼び出し、モニタ呼び出し、オーバーレイ、スピードダイヤルの順になります。プロファイルがダウンロードされる物理的な電話機にあるボタンよりも多い数の、ディレクトリ番号とスピードダイヤル番号がプロファイルに含まれている場合、すべての番号がボタンにダウンロードされるわけではありません。
- ラインアピアランス用に設定された最初の番号を、モニタ対象のディレクトリ番号にすることはできません。
- 認証クレデンシャルのユーザ名パラメータは一意にする必要があります。Cisco Unified CME で 2 つ以上の認証クレデンシャルを設定する場合、Cisco Unified CME GUI アカウントのユーザ名と、エクステンション モビリティのログアウトまたはユーザ プロファイルのユーザ名など、ユーザ名に同じ値を使用しないでください。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **voice user-profile profile-tag**
4. **user name password password**
5. **number number type type**
6. **speed-dial speed-tag number [label label] [blf]**
7. **pin number**
8. **max-idle-time minutes**
9. **privacy-button**
10. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

コマンドまたはアクション	目的
<p>ステップ3 <code>voice user-profile profile-tag</code></p> <p>例: Router(config)# voice user-profile 1</p>	<p>エクステンション モビリティ用にユーザ プロファイルを設定するため、音声ユーザ プロファイル コンフィギュレーション モードを開始します。</p> <ul style="list-style-type: none"> profile-tag : 設定タスク中にこのプロファイルを識別する一意の番号。範囲 : 1 から、サポートされる電話機の最大数に 3 を掛けた値まで。この最大数はプラットフォームによって異なります。値を表示するには、? と入力します。
<p>ステップ4 <code>user name password password</code></p> <p>例: Router(config-user-profile)# user me password pass123</p>	<p>エクステンション モビリティがイネーブルになっている Cisco Unified IP Phone に電話機ユーザがログインできるようにするには、Cisco Unified CME で認証されるためのクレデンシャルをあらかじめ作成しておきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> name : この認証クレデンシャルのみに関して、ユーザを識別するための一意の英数文字列。 password : 承認されたユーザのパスワード。
<p>ステップ5 <code>number number type type</code></p> <p>例: Router(config-user-profile)# number 2001 type silent-ring Router(config-user-profile)# number 2002 type beep-ring Router(config-user-profile)# number 2003 type feature-ring Router(config-user-profile)# number 2004 type monitor-ring Router(config-user-profile)# number 2005,2006 type overlay Router(config-user-profile)# number 2007,2008 type cw-overly</p>	<p>回線定義を作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> number : このプロファイルで設定されている電話機のボタンに関連付けられ、そのボタンの横に表示されるディレクトリ番号。 [,...number] : (任意) オーバーレイ回線専用。コール待機の有無は関係ありません。コマンドリストの最も左側にあるディレクトリ番号のプライオリティが最も高くなります。最大 25 個の番号を使用できます。個々の番号はカンマ (,) で区切る必要があります type type : この回線に関連付ける特性を指定します。オプションのリストを表示するには、? と入力します。
<p>ステップ6 <code>speed-dial speed-tag number [label label] [blf]</code></p> <p>例: Router(config-user-profile)# speed-dial 1 3001 Router(config-user-profile)# speed-dial 2 3002 blf</p>	<p>スピード ダイヤル定義を作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> speed-tag : 設定タスク中にスピード ダイヤル定義を識別する一意のシーケンス番号。範囲 : 1 ~ 36。 number : 短縮ダイヤル ボタンを押したときにダイヤルされる番号。 label label : (任意) 短縮ダイヤル ボタンの横に表示される識別用テキストを含む文字列。文字列にスペースを含む場合は引用符で囲みます。 blf : (任意) スピード ダイヤル番号のビジー ランプ フィールド (BLF) モニタリングをイネーブルにします。
<p>ステップ7 <code>pin number</code></p> <p>例: Router(config-user-profile)# pin 12341</p>	<p>電話機ユーザが使用する Personal Identification Number (PIN) を設定して、このプロファイルがダウンロードされる Cisco Unified IP Phone のコール ブロッキング設定をディセーブルにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> number : 4 ~ 8 個の数字を含む数字列。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 8	<p><code>max-idle-time minutes</code></p> <p>例 : <code>Router(config-user-profile)# max-idle-time 30</code></p>	<p>(任意) エクステンション モビリティ ユーザを自動的にログアウトするためのアイドル期間タイマーを作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> このコマンドは、Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョンでサポートされています。 <i>minutes</i> : アイドル状態のエクステンション モビリティ電話機からユーザがログアウトされるまでの最大時間 (分)。範囲 : 1 ~ 9999。
ステップ 9	<p><code>privacy-button</code></p> <p>例 : <code>Router(config-user-profile)# privacy-button</code></p>	<p>(任意) IP Phone でプライバシー機能ボタンをイネーブルにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> このコマンドは、オクトライン ディレクトリ番号を共有する電話機に対してのみイネーブルにします。 このコマンドは、Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョンでサポートされています。
ステップ 10	<p><code>end</code></p> <p>例 : <code>Router(config-user-profile)# end</code></p>	<p>特権 EXEC モードに戻ります。</p>

エクステンション モビリティの設定例

ここでは、次の設定例を示します。

- 「SIP 電話機でエクステンション モビリティを使用するための設定 : 例」 (P.1138)
- 「エクステンション モビリティで使用するための SIP 電話機の設定 : 例」 (P.1140)
- 「ログアウト プロファイル : 例」 (P.1140)
- 「エクステンション モビリティ用の IP Phone のイネーブル化 : 例」 (P.1141)
- 「ユーザ プロファイル : 例」 (P.1141)

SIP 電話機でエクステンション モビリティを使用するための設定 : 例

次に、SIP 電話機でエクステンション モビリティを使用できるようにするための設定例を示します。

```
Router#en
Router#conf t
Enter configuration commands, one per line.End with CNTL/Z.

Router(config)#ip http server
Router(config)#voice register global
Router(config-register-global)#$.2.0/CCMCIP/authenticate.asp admin password
Router(config-register-global)#exit
Router(config)#telephony-service
Router(config-telephony)#authentication credential admin password
Router(config-telephony)#em keep-history
Router(config-telephony)#em logout 19:00
Router(config-telephony)#end
```

エクステンション モビリティで使用するための SIP 電話機の設定：例

次に、SIP 電話機でエクステンション モビリティを使用できるようにするための設定例を示します。

```
Router#en
Router#conf t
Enter configuration commands, one per line.End with CNTL/Z.

Router#en
Router#conf t
Enter configuration commands, one per line.End with CNTL/Z.
Router(config)#voice register pool 1
Router(config-register-pool)#id mac 12.34.56
Router(config-register-pool)#type 7960
Router(config-register-pool)#logout-profile 22
Enabling extension mobility will replace current phone configuration with logout
profile, continue??[yes]: y
Router(config-register-pool)#end
```

ログアウト プロファイル：例

次に、エクステンション モビリティがイネーブルになっている Cisco Unified IP Phone のデフォルト アピアランスを定義するログアウト プロファイルの設定の例を示します。電話機に、このプロファイルのどの回線と短縮ダイヤル ボタンが設定されるかは、電話機のタイプによって異なります。たとえば、Cisco Unified IP Phone 7970 では、logout profile1 に従って、すべてのボタンが設定されます。それに対して、電話機が Cisco Unified IP Phone 7960 の場合は、6 つの回線はすべて電話機のボタンにマップされますが、スピードダイヤルに使用できるボタンがないため、スピードダイヤルは無視されます。

```
voice logout-profile 1
pin 9999
user 23C2-8 password 43214
number 3001 type silent-ring
number 3002 type beep-ring
number 3003 type feature-ring
number 3004 type monitor-ring
number 3005,3006 type overlay
number 3007,3008 type cw-overly
speed-dial 1 2000
speed-dial 2 2001 blf
```

エクステンション モビリティ用の IP Phone のイネーブル化 : 例

次に、3 つの IP Phone に対する ephone の設定例を示します。3 つすべての電話機はエクステンション モビリティがイネーブルになっており、同じログアウト プロファイル番号 1 を共有しています。このプロファイルは、これらの電話機がブートされたとき、および電話機ユーザが電話機にログインしていないときにダウンロードされます。

```
ephone 1
  mac-address 000D.EDAB.3566
  type 7960
  logout-profile 1

ephone 2
  mac-address 0012.DA8A.C43D
  type 7970
  logout-profile 1

ephone 3
  mac-address 1200.80FC.9B01
  type 7911
  logout-profile 1
```

ユーザ プロファイル : 例

次に、エクステンション モビリティがイネーブルになっている Cisco Unified IP Phone に、電話機ユーザがログインしたときにダウンロードされるユーザ プロファイルの設定例を示します。ユーザがログイン後、電話機にこのプロファイルのどの回線と短縮ダイヤル ボタンが設定されるかは、電話機のタイプによって異なります。たとえば、ユーザが Cisco Unified IP Phone 7970 にログインすると、voice-user profile1 に従って、すべてのボタンが設定されます。ところが、電話機ユーザが Cisco Unified IP Phone 7960 にログインすると、6 つの回線はすべて電話機のボタンにマップされますが、スピードダイヤルに使用できるボタンがないため、スピードダイヤルは無視されます。

```
voice user-profile 1
  pin 12345
  user me password pass123
  number 2001 type silent-ring
  number 2002 type beep-ring
  number 2003 type feature-ring
  number 2004 type monitor-ring
  number 2005,2006 type overlay
  number 2007,2008 type cw-overly
  speed-dial 1 3001
  speed-dial 2 3002 blf
```

次の作業

- 既存のログアウト プロファイルまたはユーザ プロファイルを修正したか、それらのプロファイルを新規作成した場合は、電話機を再起動して、変更を伝播する必要があります。「[電話機のリセットと再起動](#)」(P.371) を参照してください。
- 1 台以上の Cisco Unified IP Phone でエクステンション モビリティをイネーブルにした場合は、新しいコンフィギュレーション ファイルを生成し、電話機を再起動します。「[電話機のコンフィギュレーション ファイルの生成](#)」(P.359) を参照してください。

その他の参考資料

次の各項では、Cisco Unified CME 機能に関連するその他の資料について説明します。

関連資料

関連項目	参照先
Cisco Unified CME の設定	<ul style="list-style-type: none"> 『Cisco Unified CME Command Reference』 『Cisco Unified CME Documentation Roadmap』
Cisco IOS コマンド	<ul style="list-style-type: none"> 『Cisco IOS Voice Command Reference』 『Cisco IOS Software Releases 12.4T Command References』
Cisco IOS の設定	<ul style="list-style-type: none"> 『Cisco IOS Voice Configuration Library』 『Cisco IOS Software Releases 12.4T Configuration Guides』
Cisco Unified CME 用の電話機のマニュアル	<ul style="list-style-type: none"> 『User Documentation for Cisco Unified IP Phones』

標準

標準	タイトル
なし	—

MIB

MIB	MIB リンク
CISCO-CCME-MIB	選択したプラットフォーム、Cisco ソフトウェア リリース、および フィーチャ セットの MIB を検索してダウンロードする場合は、次 の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。 http://www.cisco.com/go/mibs

RFC

RFC	タイトル
なし	—

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>右の URL にアクセスして、シスコのテクニカル サポートを最大限に活用してください。これらのリソースは、ソフトウェアをインストールして設定したり、シスコの製品やテクノロジーに関する技術的問題を解決したりするために使用してください。この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。</p>	<p>http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html</p>

エクステンション モビリティの機能情報

表 99 に、このモジュールで説明した機能、およびバージョンごとの拡張機能を示します。

特定の Cisco Unified CME バージョンをサポートするための適切な Cisco IOS リリースを判断するには、http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cucme/requirements/guide/33matrix.htm にある『Cisco Unified Communications Manager Express and Cisco IOS Software Version Compatibility Matrix』を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator では、特定のソフトウェア リリース、フィーチャ セット、またはプラットフォームをサポートしている Cisco IOS ソフトウェア イメージを確認できます。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、<http://www.cisco.com/go/cfn> に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。



(注) 表 99 には、特定の機能に対するサポートを導入した Cisco Unified CME のバージョンが示されています。特に明記されていない限り、Cisco Unified CME ソフトウェアの後続のバージョンでもこの機能をサポートします。

表 99 エクステンション モビリティの機能情報

機能名	Cisco Unified CME のバージョン	変更箇所
Cisco Unified SCCP IP Phone でのエクステンション モビリティの MIB サポート	9.0	Cisco Unified SCCP IP EM 電話機をモニタするための、新しい MIB オブジェクトが追加されました。
SIP 電話機のサポート	8.6	SIP 電話機のサポートが追加されました。
エクステンション モビリティの拡張機能	7.0/4.3	次のサポートが追加されました。 <ul style="list-style-type: none"> • 自動ログアウト。次のものなど。 <ul style="list-style-type: none"> – すべてのエクステンション モビリティ ユーザを自動的にログアウトするための、設定可能な時刻タイマー。 – アイドル状態のエクステンション モビリティ電話機から個々のユーザをログアウトするための、設定可能なアイドル期間タイマー。 • ユーザがエクステンション モビリティからログアウトするときの電話履歴の自動クリア。
スピードダイヤル用の電話機ユーザインターフェイス	7.0/4.3	エクステンション モビリティ ユーザが自分のスピードダイヤル設定を電話機に直接設定できる、電話機ユーザインターフェイスが追加されました。
エクステンション モビリティ	4.2	エクステンション モビリティがイネーブルになっている、任意のローカル Cisco Unified IP Phone にユーザがログインできるようにすることで、電話機のモビリティという利点をエンドユーザに提供します。